	基本情報>				•									
	被保険者番号	123456	年齢	82歳	生年月日	明· <b>大·昭</b> 7年 8月 9日	性別 口男			確認日	令和○○年○月○日	作成日 令和(	OO年O月	月〇日
利	被保険者	ケル サフ	要介記	護認定	要支援	要介護	<del></del> -				〇〇ケアプラン		<u> </u>	
用业	氏名	篠山 花子	※該	当に〇	1 • 2	1 2 · 3 ·	4 · 5			格 ※	the state of the s	印の必要はなくなり	ました	
者	/2- =r	a cave + + + m-	4 = 17	lub O					者 <del></del> 氏	名		作成者が福祉住環境 一2級以上の者の場	ゴコーディス	
	住所	久留米市中央町	15番	地 3					連	絡先	45-6	の添付が必要。		Ţ
									※作成	者が介	護支援専門員でないとき	•		
保	確認日	令和 年 月 日	年 日 日 証											
険者	氏 名		<b>ロ</b> 計         価											
	┃ 総合所見>													
	<u> </u>	【通常の訓	己載例】									┪福祉用具の利用	状況と住っ	宅改修後
		令和〇(	令和〇〇年〇月〇日に自宅の廊下で転倒し、右大腿骨頸部を骨折。入院し人工骨頭置換術後、〇月〇日に退院。						の想定	改修前	改修後			
			室内はロフストランドクラッチでゆっくりではあるが歩行可能。 ただし見守りが必要。  立ち上がりやバランスの保持、移動といった生活動作に関する身体状況を記述する。 <b>屋内の移動方法(独</b> 力のかまらないで歩ける・つたい歩き・介助歩行・杖や歩行器利用・車いす介助など)は必ず記述する。 屋							<ul><li>車いす</li></ul>				
)	利用者の身	体状況								寝台				
										ᅅᅜ	1 =			
				関する改修をする場合は、屋外の移動方法も必ず記述する。							変換器			
		 【通常の訂	己裁例】									ー・ブッ  -スロープ	1	
					居しており、扨	非泄は1人で行うことができる	が、入浴につ	ついては	介助が必要	見であり、	主に長男の妻が	八		
			介護を行っている。 長男夫婦は仕事のため、日中独居である。 週2回通所介護利用。							・歩行補助つえ				
	介護状態								•認知症老人					
				・ 各種介護サービスだけではなく、家族の介護も含めた介護状況を記述する。 見守り程度の状況であっても、その内容を記述する。							徘徊感知機器	<del>}</del>		
	【通常の記載例】							・移動用リフト						
								▋・腰掛便座		📙				
					Φ ±11=-01	、一人叫ナゴルー・フ だ ひ	<b>⇔</b>	18±03	ロチェカッド	⊩uu a v	公乱, 化中毒 (河田)	▶特殊尿器		□
					ひ一部につい	ハて介助を受けているが、住 ''ゝ	毛以修により	を図り			公動作や家事(調理)	·入浴補助用具 ·簡易浴槽		
							カ老の負担‡	軽減され	本人のF	9 堂生活	白立度も向上する	・その他		
;	住宅改修により、 利用者等は日常生活 をどう変えたいか  住宅改修することにより、1人の時も安全に過ごすことができ、介助者の負担も軽減され、本人の日常生活自立度も向上する。  利用者が住宅改修によって現在の暮らしをどのように変えたいのか、あるいは継続していきたいのかを総合的に記述する。これまでの生活環境を踏まえ、利用者はどのような社会参加をしていきたいのかを、総合的に記述する。これまでの生活環境を踏まえ、利用者はどのような社会参加をしていきたいのかを、という変えたいか  ※入院(所)中工事の場合は、①入院(所)中工事を行う箇所の必要性・緊急性【病院の専門家(Dr, PT, ②退院目についても記述する。						専門職の判断も踏	まえた上て	Ć,					

<P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作。②具体的な困難な状況。③改修目的と改修の方針。④改修項目。を具体的に記入してください。>

<	<p1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作 ②具体的な困難な状況="" ③改修目的と改修の方針="" ④改修項目="" を具体的に記入してください。=""></p1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作>							
	活動	① 改善をしようと している生活動作	<ul><li>② ①の具体的な困難な状況</li><li>(…なので…で困っている)</li></ul>	③ 改修目的・期待3	④ 改修項目(改修箇所)			
	排泄	■トイレまでの移動 ■トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む) ■便器からの立ち座り (移乗を含む) □衣服の着脱 □排泄時の姿勢保持 □後始末 □その他(	【通常の記載例】 ・居室からトイレまでの移動はつえ歩行だが 歩行バランスが若干不安定で「見守り」が 必要。 ・ドアが開き戸なので開閉の際、重心が傾いて 不安定である。 ・便座から立ち上がりの際に、支持する所が ないため、不安定である。	できるようにする ■転倒等の防止、 安全の確保	【通常の記載例】 ・居室からトイレまでの廊下に手すりを設置することで転倒予防できる。 ・ドアを引き戸にすることにより、転倒せずに安全に一人でトイレの出入ができる。 ・トイレ内に手すりを設置することにより、安全に立ち座りができる。	■手すりの取付け 廊下の移動経路 便器横壁面 脱衣室の移動経路 浴室の移動経路 玄関横壁面 ■段差の解消 浴槽を縁高40cmのものに取替え		
	入浴	□での他( ■浴室までの移動 □衣服の着脱 □浴室出入口の出入 (扉の開閉を含む) ■浴室内での移動 (立ち座りを含む) □洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) ■浴槽の出入 (立ち座りを含む) □浴槽の出入 (立ち座りを含む) □浴槽のでの姿勢保持 □谷槽内での姿勢保持	【通常の記載例】 ・居室から浴室までの移動は「排泄」と同じ。 ・浴室内で杖が使えないため、つかまるものがなく、移動に不安がある。 ・浴槽の縁高50cm深さ60cmを一人でまたぐことができず、介助を必要としている。	<ul><li>■できなかったことをできるようにする</li><li>■転倒等の防止、安全の確保</li><li>□動作の容易性の確保</li></ul>	【通常の記載例】 ・居室から浴室までの廊下に手すりを設置することで転倒予防できる。 ・浴室内での移動の安全を確保するために手すを設置する。 ・浴槽を浅い物(縁高40cm深さ50cm)に取り替えることにより一人で浴槽への出入ができるようになる。	日本語では 台所出入口の敷居の撤去 玄関上がりかまちに15cmの踏み台設置 □床または通路面材料の変更		
	外 出			■できなかったことをできるようにする ■転倒等の防止、安全の確保 □動作の容易性の確保□利用者の精神的負担や不安の軽減 ■介護者の負担の軽減□その他(	【通常の記載例】 ・上がりかまちに15cmの踏み台と手すりを設置することで、転倒を予防し一人で安全に外出ができる。			
	その他の活動	台所の出入口	【通常の記載例】 ・台所の出入口に2cmの敷居があり、つまずき やすい。	□できなかったことをできるようにする ■転倒等の防止、安全の確保 □動作の容易性の確保 ■利用者の精神的負担や不安の軽減 ■介護者の負担の軽減 □その他(	【通常の記載例】 ・敷居を撤去することで、出入の際の躓きが予防され安全に移動することができる。	口その他		

ω

## 住宅改修が必要な理由書 (P2)

<P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作(②具体的な困難な状況(③改修目的と改修の方針(④改修項目)を具体的に記入してください。>

<	<p1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作 ②具体的な困難な状況="" ③改修目的と改修の方針="" ④改修項目="" を具体的に記入してください。=""></p1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作>							
<b>注</b>		② ①の具体的な困難な状況 (…なので…で困っている)	③ 改修目的・期待効果をチェックした上での改修の方針 (・・・することで・・・が改善できる)	④ 改修項目(改修箇所)				
担	(移無を含む) □衣服の着脱 □排泄時の姿勢保持 □後始末 □その他()	【通常の記載例】 ・居室からトイクを表示していること、   ・ドファイ・アー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□できなかったことを できるようにする ■転倒等の防止、 安全の確保 □動作の容易性の確保 ■利用者の精神的負担や 不安の軽減 □介護者の負担の軽減 □その他( □その性( □を設置する □を記述する □を記	■手すりの取付け 廊下の移動経路 便器横壁面 脱衣室の移動経路 浴室の移動経路 玄関横壁面 ■段差の解消 浴槽を縁高40cmのものに取替え				
入 4	□衣服の着脱 □浴室出入口の出入 (扉の開閉を含む) ■浴室内での移動 (立ち座りを含む)	・生活のどの場面、どの動作が 利田者・介田者によって大変な	<ul> <li>できなかったことをできるようにする</li> <li>転倒等の防止、安全の確保</li> <li>動作の容易性の確保</li> <li>利用者の精神的負担や不安の軽減</li> <li>介護者の負担の軽減</li> <li>一その他(</li> <li>によりの表現でもよい。</li> <li>・段差解消の場合は、「敷居を撤去して平らにする」「かさ上げ」「敷台設置」「スロープ設置」などのように具体的に記述する。</li> <li>・1つの改修項目が複数の目的のために行われる場合はまとめて記述してもよい。</li> </ul>					
夕 出	■上がりかまちの昇降 □車いす等、装具の着脱 □履物の着脱 □出入口の出入	【通 ずつ見極め、寝たきりならば 「座位が保てるか」、歩行ができれば「段差を超えられるか」などについても確認する。 ・①のチェックと②のコメントの両方を合わせて利用者の状況が伝わるようにする。	■転倒等の防止、	型 引き戸等への扉の取替え トイレの開き戸を引き戸へ取替え □洋式便器等への便器の取替え				
その他の記載		【通常の記載例】 ・台所の出入口に2cmの敷居があり、つまずき やすい。	□できなかったことを できるようにする ■転倒等の防止、 安全の確保 □動作の容易性の確保 ■利用者の精神的負担や 不安の軽減 ■介護者の負担の軽減 □その他(	口その他				